

「大牟田市子ども読書推進計画(第4次)」(案)に対する市民意見募集の結果について

1. 市民意見募集の実施概要

(1) 募集期間

令和7年1月15日(水)～令和7年2月6日(木)

(2) 閲覧方法、閲覧場所

市ホームページ、情報公開センター、各地区公民館、文化会館、えるる、図書館、
ともだちや絵本美術館、生涯学習課

(3) 提出方法

インターネット「意見提出フォーム」・LoGo フォーム、郵送、FAX、持参

(4) 実施結果

3名より6件の意見

2. 提出された意見内容及び教育委員会の考え方(意見等は要約して記載)

(1) 市民意見の回答区分

回 答 区 分	件 数
計画に反映させたもの	0 件
計画の推進について参考意見とするもの	6 件
その他(計画に関係がない意見)	0 件

(2) 寄せられた意見の概要及び回答

番号	意見等	教育委員会の回答・考え方等	計画に係る箇所
1	荒尾市図書館を親子でよく利用する。理由は図書館だけでなく商業施設や飲食施設がたくさんあることや個人の読書や勉強スペースが充実しているため。大牟田市立図書館の利用者や読書者数を増やすために大型商業施設内にも出張図書館スペースや勉強個別スペースを作るのはどうか？大型商業施設にくる家族連れの中にも子どもと一緒に来ている保護者もいて、その保護者が、楽しめるスペースとして出張図書館が大型商業施設にあっていいと思う。もしくは子供専用の図書スペース開設でもいいかと思う。箱よりも読書しやすい環境作りも大切と思う。	計画案の3つの基本目標の中では、子どもの読書活動があらゆる機会や場所において行われることや、快適な空間でできるよう子どもの読書活動を支えることを掲げています。(参照:P37)また、具体的な取り組み案の中においても身近な地域や拠点で気軽に読書を楽しむ取り組みなどを掲げています。(参照:P41、P43、P44) こうしたことから、令和6年度に大型商業施設内において子ども読書の推進に繋がるイベントを行うとともに、今後も計画に基づき地域や大型商業施設などとの連携による取り組みを行う予定です。 このような取り組みも行いながら、ご提案頂いた内容についてはスペースの問題や費用面も含め検討して参りたいと考えております。	第3章 P37 第4章 P41、P43、P44

番号	意見等	教育委員会の回答・考え方等	計画に係る箇所
2	現在の図書館内にカフェスペースを作るなど図書館を賑わいスペースにすることもいいのではないか？	大牟田市立図書館内のカフェスペースの設置については、新たなスペースの確保などの課題が多いことから現段階においては非常に困難な状況です。 しかしながら、計画案の中では、子どもや障害のある人を含めたすべての市民が快適な空間で図書サービス等を受けることができるよう機能の整備に努めることを掲げていることや、公共施設維持管理計画等に基づいた計画的な改修も掲げていることから、緊急性や必要性、優先順位などを考慮し機能の整備に努めたいと考えております。(参照:P45)	第4章 P45
3	子ども達に読書を沢山したくなる気分させるには、大人達が楽しそうに本を読む姿を見せることが1番効果が高いのではないか。大人に向けて「みんなで楽しく本を読みましようキャンペーン」をしてみてもいいか？ 本を読む大人や先生達を身近に感じれば自然に本を読みたくなるのではないか。させよう、させようと大人が頑張るほど、子ども達の耳には届かないような気がする。	計画案策定の際に実施しました子どもとその保護者に対するアンケート調査においては、「読書を好きか」という問いに対して、子どもとその保護者は同じ回答の傾向にあることが判明しました。このことから子どもの読書推進のためには、身近な大人である保護者に対するアプローチも重要であると考えております。(参照:P23、P27) また、子どもが本を読むきっかけとしては、おもしろい本や知りたいと思うことの本があることが高い割合を占めました。(参照:P14) このようなことから、計画案の第4章に示しました具体的な取組みにおいては、身近な地域や拠点で親子が気軽に読書を楽しむ取組みなどを掲げています。(参照:P41、P43、P44) また、子どものみならず大人も興味を持つための本に関する情報やイベントなどの情報発信を強化する考えを盛り込み、子どもの読書推進につながるための情報発信の強化も施策の一つとして掲げました。(参照:P29、P48、P49) ご提案いただいた取組みについては、今後、大牟田市立図書館等での実施を検討するとともに、関係団体においても同様の取組みにつながるよう働きかけを行いたいと考えております。	第2章 P14、P23、P27 P29 第4章 P41、P43、P44 P48、P49

番号	意見等	教育委員会の回答・考え方等	計画に係る箇所
4	図書館でおはなし会があつて いることをいろんなところでア ピールすべきと思う。学校の先生 方にも周知していただきたい。	計画案策定の際に実施しました 子どもとその保護者に対するアン ケート調査では、本を読むきかけ づくりのために、各年代に合わせた 情報提供や機会の創出などが必要 であることが判明しました。(参 照:P14、P27) こうしたことから、計画案におい ては、子どもの読書推進につながる ための情報発信の強化も施策の一 つとして掲げたところです。様々な 機会を活用し、広く効果的に情報 を発信していくこととしており、ご提 案の内容も含め取組みを進めてま いります。(参照:P29、P48、P49)	第2章 P14、P27、P29 第4章 P48、P49
5	中学生や高校生が小学生に読 み聞かせを行うなど、自分より下 の子への読み聞かせにより、異年 齢との関わりで優しさという感 情も経験できるのではないか。	計画案策定の際に実施しました 学校図書館司書に対するアンケー ト調査でも同様の意見があり重要 なことであると考えています。(参 照:P24) このため計画案においても、中高 生が小学生に、小学生が幼児に読 み聞かせを行うなどの取組みを掲げ て進めてまいります。(参照:P40)	第2章 P24 第4章 P40
6	ともだちや絵本美術館では自 由に本を手にとることができる。 歓迎遠足などの機会には、ぜひと もだちや絵本美術館での時間も 取って頂き、その心地よさを子ど もたちに体験してもらえればと 思う。ぜひ幼稚園・保育所・学校 等で図書館やともだちや美術館 へ行く機会を設けて頂きたい。 (読書ボランティア活動を行っ ているので、その際にボランティ アが必要であれば役に立ちたい と思う。)	ともだちや絵本美術館では、定期 的に市の関係課や大牟田市立図書 館、関係機関や地域の代表者で情報 共有のための会議を行っており、こ の中で、子ども達がともだちや絵本 美術館に足を運んでもらうための 方策の検討を行っています。 また、計画案においては、子ども の読書推進につながるための情報 発信の強化も施策の一つとして掲 げたことから、様々な機会を活用 し、広く効果的に情報を発信してい くこととしており、この中で、とも だちや絵本美術館の魅力の情報発 信を行う予定としております。(参 照:P29、P48、P49) あわせて、計画案の中では、子ど もの読書活動を支援する組織や人 材のつながりづくりを施策の一つ として掲げているとともに、計画の 推進体制についても明記しており、 様々な団体とも連携しながら取組 みを進めてまいります。(参照: P50、P51、P53)	第2章 P29 第4章 P48～P51 P53